

保護者による児童発達支援評価集計結果

令和6年3月29日
 社会福祉法人富士見会
 児童発達支援センター富士見台聴こえとことばの教室
 回答数35件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33名 (94%)	1名 (3%)	1名 (3%)	0名 (0%)	・運動系のアクティビティをする際は、明らかにスペースが不足している。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	29名 (83%)	4名 (11%)	1名 (3%)	1名 (3%)	・この方は何の資格を持っていて、この方は何の専門家なのか全く知らない。 ・近年重複障がいや併せ持つ児童が増えてきているとそこそこで耳にします。常勤ではなくとも小児科や児童精神科などの専門家との連携があってもいいのかなと思います。 ・療育に対する専門性にはなんの懸念もない、が現代の子供に接するという観点で、ジェンダーバイアスなど更新すべき認識が多分にある。 ・先生はたくさんいるが、実際に担任となる先生は一部。毎年担任が変わると聞いていたが、個別も集団も三年ずっと同じ。行事などでは他の先生とも交流があるが、授業は少し多くの意見が聞きたいところもある。 ・専門性にばらつきを感じる。	・今後の運営において、ご意見を参考にさせていただきます。 ・難聴に重複する障害については、小児科及び児童精神科の受診を希望される場合は、囑託医に相談の上、希望される大学病院又は専門の児童発達支援をご紹介します。 心配がある場合は、ご相談ください。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	29名 (83%)	4名 (11%)	1名 (3%)	1名 (3%)		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	33名 (94%)	2名 (6%)	0名 (0%)	0名 (0%)	・髪の毛や紙くずが落ちて見受けられるので、指導開始前にコロコロやハンディの掃除機で掃除をして欲しい。しているのであればもう少し入念にチェックしてほしい。 ・建物全体的に古く、劣化が見られる。	・清掃の仕方や頻度について、改善いたします。 ・建物については、順次修繕等を進めてまいります。

適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されているか	29名 (83%)	6名 (17%)	0名 (0%)	0名 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題が明確に示されない。 ・先生が保護者側のニーズを聞き取りすり合わせを行った後に、個別支援計画が作成されている。とても丁寧に対応がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の訓練及び室外指導へのご兄弟の同伴については、可能な場合とご遠慮いただく場合があります。ことをお話し、ご理解いただくよう努めています。ご兄弟が参加できる行事を今後も企画し実施したいと考えています。 ・ご兄弟の保育園や学童クラブの申請時には、施設から通園証明書をお出しすることができますのでご相談ください。
	6	児童発達支援計画（個別支援計画）には、「児童の発達支援」「家族支援」「地域支援」（児童発達支援ガイドラインにて提供すべきとされている3つの支援）の観点から、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、具体的な支援内容が設定されているか	29名 (83%)	5名 (14%)	1名 (3%)	0名 (0%)		
	7	児童発達支援計画（個別支援計画）に沿った支援が行われているか	33名 (94%)	2名 (6%)	0名 (0%)	0名 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎学期、適切に内容を見直して頂けて、大変ありがたかったです。 ・家族支援ということでは困ることが多かった。難聴児の長男の療育中は付き添わなければならないが、下の子が生まれてから、連れてこないでください、と言われ、周りに頼らざるを得ないが、障害が中等度であることから保育園にも入れられず、苦労した。今兄弟ができれば、こうなります、と、事前に説明が欲しかった。（*他、ご意見をいただいています。） 	

8	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	25名 (71%)	8名 (23%)	2名 (6%)	0名 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・長年やって来たことを大事にしている、ということでも古い慣習が多い。良いこともあれば、意味なく続いていることもある。 ・子どもの好きなキャラクターや興味のある分野が効果的にプログラムに取り入れられている。プログラムは工夫され構成されていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見直すべき活動について、検討を進めてまいります。
9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	21名 (60%)	4名 (11%)	5名 (14%)	5名 (14%)	<ul style="list-style-type: none"> ・リバーズはいつもと違う、青い鳥保育園のお友達との交流の機会、新しいお友達を作ろうと、本人がとても楽しんで参加できていました。 ・各々療育施設外で交流する場を持っていることが大半であるし、教室管理下での交流がその外部のものより優る点が見受けられない。 ・有ったが、意味がよくわからなかった。そもそも、普段から園で健常児と交流しているの、せつかく時間を作って通っている療育の時間内でそれをする必要も無い。 (*他、ご意見をいただいております) 	<ul style="list-style-type: none"> ・当施設は長い間、青い鳥保育園での統合保育や合同行事、交流などを通して、いろいろな年齢の子どもたちと関わる経験を大切にしてきました。 いただいたご意見を今後の運営の参考にさせていただきます。
10	入室にあたって、施設の運営規定概要及び利用者負担等を含む『重要事項』について、丁寧な説明がなされたか	34名 (97%)	0名 (0%)	1名 (3%)	0名 (0%)		
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画（個別支援計画）」を示しながら支援内容の説明がなされたか	32名 (94%)	2名 (6%)	0名 (0%)	0名 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・紙に記したものを読み上げることを説明とは言わない。 ・いつも大変丁寧にご説明いただいております。 	
12	保護者に対して家族支援プログラム（保護者指導・保護者研修会等）が行われているか	34名 (97%)	0名 (0%)	0名 (0%)	1名 (3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会時は父母参加可能なように子供の預かりまで配慮していただき、集中して学べる時間を作っていたいただき、大変ありがたかったです。 ・直近、施設長からの研修会が行われたが、非常に有意義であった。 ・4歳、5歳クラスでは子どもの言語獲得に向け専門的な勉強会を行ってほしかったです。言語獲得のステップをもっと専門的に、またその内容をどのように家庭で展開するのか、親のワークショップがあったらよいと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を参考に、研修会の内容について、検討を進めます。

13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	33名 (94%)	1名 (3%)	1名 (3%)	0名 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・割と相談しやすく、一緒に考えてもらえる。 ・日々の日誌は、親の負担が軽くなるよう提出方法を変えたり、フォーマットなどを活用してほしい。 ・先生が子ども一人一人のことを常に丁寧に見ている。理解が深い。 	
14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31名 (88%)	1名 (3%)	2名 (6%)	1名 (3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・難聴のお子さんは～だから。難聴のお子さんって～ってひとくりにいう言い方が凄く嫌。 ・形式ばって行われた記憶はないが、日々のコミュニケーションの中でフォローされているようには感じる。 	
15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	27名 (77%)	5名 (14%)	0名 (0%)	3名 (9%)		
16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	28名 (80%)	2名 (6%)	4名 (11%)	1名 (3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ようやく少しずつ変化してきてはいるものの、連絡事項の周知方法、スケジュールの共有タイミングなど改善が望まれる点が多い。 ・相談には乗ってもらえるが、要望が受け入れられることはあまり無い。 	

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28名 (80%)	3名 (9%)	3名 (9%)	1名 (3%)	<ul style="list-style-type: none"> 情報伝達手段を増やして欲しい。電話のみで、大変不便に感じている。 保護者への情報伝達のミスが多く非常に困っている。 (※他、ご意見をいただいております) 	<ul style="list-style-type: none"> 情報伝達の手段、現在取り入れている一斉メールでの情報伝達について、検討してまいります。
	18	定期的に書面や会報、ホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	29名 (83%)	4名 (11%)	0名 (0%)	2名 (6%)		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	31名 (88%)	0名 (0%)	2名 (6%)	2名 (6%)	<ul style="list-style-type: none"> 紙媒体でのやり取り、USBフラッシュドライブの使い回しなど、今日では避けるべき方法が多く取られている。 先生に年賀状をかく宿題のために、先生個人の住所リストが配布される。利用者だけでなく、職員の個人情報も守るべき。年賀状等は教室宛で十分ではないか。 	
非常時等の対応	20	非常災害時対応、感染症対策等について、保護者に周知・説明されているか	31名 (91%)	1名 (3%)	1名 (3%)	1名 (3%)	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の配慮は、個々に応じた対応をされていた。 	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25名 (75%)	5名 (14%)	0名 (0%)	4名 (11%)	<ul style="list-style-type: none"> 通園のタイミングによって、訓練にあたる頻度に著しい差がある。 	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	27名 (80%)	3名 (9%)	0名 (0%)	4名 (11%)	<ul style="list-style-type: none"> 普段の集団生活と天秤状態、疲れもあつたりで気分には差はある。 	
	23	事業所の支援に満足しているか	29名 (85%)	4名 (11%)	1名 (3%)	0名 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> 前述の通り、こどもを通わせたいが、色々な支障がある時、その気持ちを汲んで対応してもらうことが出来ず、辛かった。 (※他、ご意見をいただいております。) 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の皆さまと信頼関係を築き、ご兄弟、ご家族のことを共に考えながら、療育を進めていけるよう努めてまいります。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。